

消化器外科、乳腺・内分泌外科	
診療科目：消化器外科、一般外科、乳腺・内分泌外科	
診療科担当研修責任者名： 若井 俊文（消化器外科、乳腺・内分泌外科診療科長）	
診療科連絡先担当者名： 坂田 純（消化器外科、乳腺・内分泌外科エデュケーショナルマネージャー）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：6人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
外科学会専門医25人、消化器外科学会専門医15人、乳癌学会専門医3人、消化器病学会専門医7人、大腸肛門病学会専門医3人、消化器内視鏡学会専門医1人、肝胆膵外科高度技能専門医5人、日本救急医学会専門医1人、内分泌・甲状腺外科学会専門医1人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
外科学会指導医7人、消化器外科学会指導医8人、消化器病学会指導医1人、肝胆膵外科高度技能指導医2人、乳癌学会指導医1人、大腸肛門病指導医2人、胆道学会指導医4人、膵臓学会指導医4人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
当科は新潟医学専門学校創立当初の外科学教室として開設以来、技術の高い信頼できる外科医を育成・輩出してきました。現在、消化器・一般外科として、主に上部消化管、下部消化管、肝胆膵・移植、乳腺の4つを担当領域の主軸としています。新しい外科技術を駆使できる応用力、チーム医療をリードする協調性と指導力、Academic surgeonを目指す学術的な推進力、こうした要素を持った人材を一人でも多く育成できるよう、診療・指導にあたっています。新潟県内、日本国内のみならず、海外にも通用するマルチタレントな外科医の育成を目標としています。近年は、直腸癌、胃癌、食道癌に対してロボット支援下手術を導入し、症例を積み重ねています。高侵襲手術の多い肝胆膵領域も腹腔鏡下手術を積極的に導入し、ロボット支援下手術も視野に入れて取り組んでいます。手術のみならず、がん遺伝子パネル検査を推進し、化学療法を含めた集学的治療を実施しております。移植医療に関しては、脳死膵移植を年間数例ですが継続して実施しております。乳腺診療についても、乳癌診療のみならず、遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとした遺伝性腫瘍の診療においても力を入れ、BRCA変異陽性乳癌患者に対するリスク低減乳房切除術も行っています。	消化器・一般外科コース、乳腺専門医コースの2つがあります。 外科医に要求される基礎的な診療能力（医療技術、問題解決能力、チーム医療）の修得をめざします。 1）多様な外科疾患・手術を経験することにより、最終的には高難度手術・先端的な手術へつながる幅広い外科的技術が身につくよう指導します。外科専門医資格取得に必須である呼吸循環外科、小児外科の研修も可能になっています。消化器外科を志す初期研修医（選択コース）に対して、主要消化器手術および腹腔鏡実習トレーニングを積極的に行ってもらいます。 2）専門性に必要な学術的業績の指導も行い、国際的にも活躍できる人材の育成を目指します。また外科医同士の連携・人脈を実感してもらうため学外研修・研究会および学会参加・海外留学を積極的に行っています。将来、視野を広くもち、困難な症例・状況を問題解決していく能力につながります。 3）大学およびハイボリューム病院での研修を組み合わせた研修が基本です。多くの指導医から手術技能・知識を獲得しながら、専門医資格（卒後6年目）をとるだけでなく、基本的外科手術そして医療技術にて救命する力を持つ、患者・他科医師から信頼されるAcademic surgeonを目指してください。